資 料

首都圏整備に関する各種データ

1　人口の状況

1-1　首都圏各地域の人口と人口増加率の状況

	人口（千人）					人口増加率（%）			
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	S60~H2	H2~7	H7~12	H12~17
全国	121,049	123,611	125,570	126,926	127,768	2.1	1.6	1.1	0.7
首都圏	37,618	39,396	40,402	41,322	42,379	4.7	2.6	2.3	2.6
東京都	11,829	11,856	11,774	12,064	12,577	0.2	-0.7	2.5	4.2
東京都区部	8,355	8,164	7,968	8,135	8,490	-2.3	-2.4	2.1	4.4
都心3区	325	266	244	268	326	-18.2	-8.4	10.0	21.7
近隣3県	18,444	19,941	20,803	21,354	21,902	8.1	4.3	2.6	2.6
周辺4県	7,345	7,600	7,825	7,904	7,900	3.5	3.0	1.0	-0.0

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-2　首都圏における総人口に占める年齢3区分別人口割合の状況

（単位：%）

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
0～14歳人口	全国	23.5	21.5	18.2	15.9	14.6	13.7
	首都圏	23.7	21.1	17.3	15.0	13.8	13.1
	東京都	20.6	18.0	14.6	12.7	11.8	11.3
	近隣3県	25.7	22.6	18.1	15.6	14.3	13.7
	周辺4県	24.1	22.5	19.3	16.9	15.3	14.3
15～64歳人口	全国	67.3	68.2	69.5	69.4	67.9	65.8
	首都圏	68.7	70.2	72.3	72.6	71.1	68.5
	東京都	71.5	73.0	74.1	73.9	72.0	69.1
	近隣3県	67.8	69.9	72.9	73.5	72.0	69.1
	周辺4県	66.2	66.7	68.0	68.1	67.1	65.7
65歳以上人口	全国	9.1	10.3	12.0	14.5	17.3	20.1
	首都圏	7.5	8.6	10.0	12.2	15.0	17.9
	東京都	7.7	8.9	10.5	13.0	15.8	18.3
	近隣3県	6.5	7.5	8.8	10.8	13.6	16.9
	周辺4県	9.7	10.9	12.6	15.0	17.5	20.0

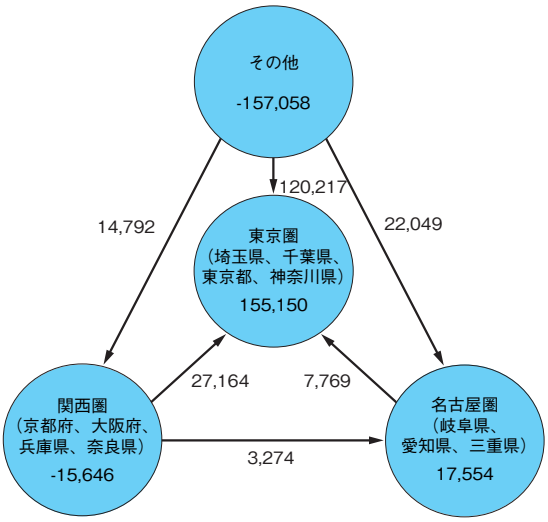
注　：内訳の合計が100%とならないのは、数値の四捨五入の関係及び人口割合の分母である「総人口」に「年齢不詳」を含むこと、による。
資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-3　首都圏における65歳以上単身世帯の状況

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
65歳以上単身世帯数（単位：千世帯）	全国	881	1,181	1,623	2,202	3,032	3,865
	首都圏	209	286	414	594	881	1,177
	東京都	101	134	187	265	388	498
	近隣3県	71	102	157	234	362	507
	周辺4県	37	50	70	95	131	171
65歳以上単身世帯数の割合（一般世帯総数に占める）（単位：%）	全国	2.5	3.1	4.0	5.0	6.5	7.9
	首都圏	1.8	2.3	3.0	4.0	5.5	6.9
	東京都	2.4	3.0	4.0	5.3	7.2	8.7
	近隣3県	1.4	1.8	2.4	3.2	4.6	6.0
	周辺4県	1.9	2.4	3.1	3.8	4.9	6.2
65歳以上単身者数の割合（65歳以上人口に占める）（単位：%）	全国	8.3	9.5	10.9	12.1	13.8	15.1
	首都圏	7.8	8.8	10.5	12.0	14.2	15.5
	東京都	11.3	12.7	15.1	17.3	20.3	21.7
	近隣3県	6.4	7.4	9.0	10.4	12.5	13.7
	周辺4県	5.4	6.3	7.3	8.1	9.5	10.8

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-4　大都市圏における人口移動量（平成19年）



注　：数字は転入者数と転出者数の差（人）を表す。
資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-5　業務核都市における人口の状況

（単位：人）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
全国	117,060,396	121,048,923	123,611,167	125,570,246	126,925,843	127,767,994
首都圏	35,701,559	37,618,340	39,396,483	40,402,054	41,321,883	42,379,351
東京都区部	8,351,893	8,354,615	8,163,573	7,967,614	8,134,688	8,489,653
業務核都市計[注1]	8,671,413	9,394,695	10,184,115	10,615,728	11,021,842	11,449,105
横浜市	2,773,674	2,992,926	3,220,331	3,307,136	3,426,651	3,579,628
川崎市	1,040,802	1,088,624	1,173,603	1,202,820	1,249,905	1,327,011
厚木市	145,392	175,600	197,283	208,627	217,369	222,403
町田市	295,405	321,188	349,050	360,525	377,494	405,534
相模原市	439,300	482,778	531,542	570,597	605,561	628,698
八王子市	387,178	426,654	466,347	503,363	536,046	560,012
立川市	142,675	146,523	152,824	157,884	164,709	172,566
多摩市	95,248	122,135	144,489	148,113	145,862	145,877
青梅市	98,990	110,828	125,960	137,234	141,394	142,354
川越市	259,314	285,437	304,854	323,353	330,766	333,795
熊谷市[注2]	168,429	177,869	187,968	192,523	192,527	191,107
さいたま市[注3]	879,291	922,757	1,007,569	1,078,545	1,133,300	1,176,314
春日部市[注4]	187,913	207,021	226,449	238,598	240,924	238,506
越谷市	223,241	253,479	285,259	298,253	308,307	315,792
柏市[注5]	272,904	311,155	347,002	362,880	373,778	380,963
土浦市	112,517	120,175	127,471	132,243	134,702	135,058
つくば市[注6]	127,402	150,074	168,466	182,327	191,814	200,528
牛久市[注7]	40,164	51,926	60,693	66,338	73,258	77,223
成田市	68,418	77,181	86,708	91,470	95,704	100,717
千葉市	746,430	788,930	829,455	856,878	887,164	924,319
木更津市	110,711	120,201	123,433	123,499	122,768	122,234

注１：業務核都市に含まれる表中の市を対象とした。市のデータは平成17年10月１日現在の境域とし、市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。
注２：熊谷市には、合併前の大里町（村）及び妻沼町の数値を含む。
注３：さいたま市には、合併前の浦和市、大宮市、与野市及び岩槻市の数値を含む。
注４：春日部市には、合併前の庄和町の数値を含む。
注５：柏市には、合併前の沼南町の数値を含む。
注６：つくば市には、合併前の大穂町、豊里町、谷田部町、桜村、筑波町及び茎崎町の数値を含む。
注７：牛久市は、昭和61年６月に市制へ移行。それ以前は、牛久町の数値。
資料：「国勢調査」(総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-6　業務核都市における事業所数（民営）の状況

（単位：事業所）

	昭和56年	昭和61年	平成３年	平成６年	平成８年	平成11年	平成13年	平成16年	平成18年
全国	6,290,703	6,511,741	6,559,377	6,550,245	6,521,837	6,203,249	6,138,312	5,728,492	5,722,559
首都圏	1,842,741	1,932,041	1,960,650	1,966,943	1,970,027	1,870,648	1,860,928	1,738,656	1,759,349
東京都区部	656,769	657,499	634,114	629,367	620,959	580,531	577,545	538,602	549,199
業務核都市計[注1]	342,922	372,777	395,301	400,025	406,599	387,210	385,438	362,142	367,087
横浜市	110,683	116,200	120,861	121,092	123,040	115,100	114,563	107,201	107,557
川崎市	42,162	44,124	46,275	46,691	45,942	43,255	42,023	41,249	39,260
厚木市	7,042	8,693	9,858	10,452	10,539	10,347	10,120	9,472	9,565
町田市	8,904	9,491	10,055	10,434	11,850	11,374	11,679	11,332	11,807
相模原市[注8]	18,512	20,954	22,971	23,381	23,193	24,427	23,680	22,620	22,281
八王子市	14,489	15,667	16,580	16,947	19,205	18,281	18,620	17,709	18,468
立川市	7,543	7,834	7,564	7,352	7,410	7,045	7,345	7,225	7,541
多摩市	1,695	2,178	2,926	3,126	3,408	3,382	3,640	3,190	3,435
青梅市	4,301	4,723	4,946	5,005	5,187	4,872	5,074	4,804	4,765
川越市	10,079	11,107	11,560	11,599	11,398	10,914	11,094	10,241	10,446
熊谷市[注2]	8,986	9,320	9,325	9,406	9,594	9,228	9,175	8,351	8,688
さいたま市[注3]	34,777	38,765	41,895	42,711	43,424	41,130	41,021	36,769	39,555
春日部市[注4]	6,746	8,366	8,807	8,902	9,056	8,681	8,599	7,690	7,657
越谷市	7,678	10,323	11,828	11,974	12,614	11,940	11,269	10,738	11,220
柏市[注5]	9,096	10,227	11,735	11,830	11,869	11,433	11,112	10,360	11,167
土浦市[注9]	7,305	7,801	7,916	7,905	7,960	7,402	7,222	6,737	6,669
つくば市[注6]	4,853	5,854	6,316	6,522	7,296	7,051	7,080	6,953	7,309
牛久市[注7]	1,189	1,374	1,574	1,830	2,114	2,178	2,380	2,422	2,348
成田市[注10]	4,066	4,493	4,830	5,006	5,112	4,832	5,150	4,960	5,135
千葉市	27,305	29,442	31,690	31,980	30,834	29,157	29,290	27,195	27,353
木更津市	5,511	5,841	5,789	5,880	5,554	5,181	5,302	4,924	4,861

注1　：業務核都市に含まれる表中の市を対象とした。市のデータは平成18年10月１日現在の境域とし、市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。
注2～7：「1-5　業務核都市における人口の状況」の脚注を参照。
注8　：相模原市には、合併前の津久井町及び相模湖町の数値を含む。
注9　：土浦市には、合併前の新治村の数値を含む。
注10　：成田市には、合併前の下総町及び大栄町の数値を含む。
資料　：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

1-7　業務核都市における従業者数（民営）の状況

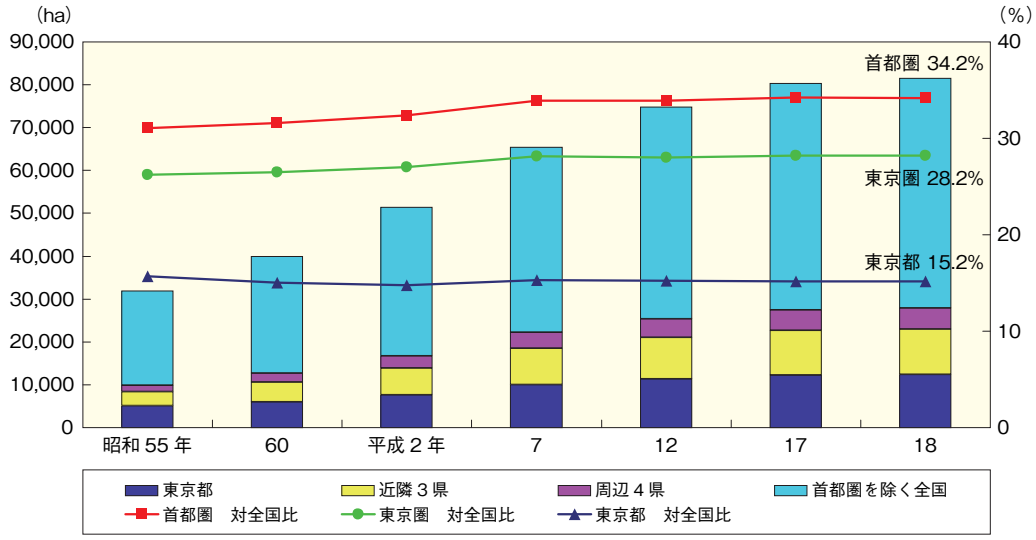
（単位：人）

	昭和56年	昭和61年	平成３年	平成６年	平成８年	平成11年	平成13年	平成16年	平成18年
全国	45,961,266	49,224,514	55,013,776	54,366,015	57,583,042	53,806,580	54,912,703	52,067,396	54,184,428
首都圏	14,783,621	16,358,753	18,663,626	18,318,707	19,505,813	18,079,172	18,798,365	17,953,460	18,905,137
東京都区部	5,983,740	6,312,581	6,964,640	6,570,661	7,040,196	6,319,406	6,711,510	6,456,600	6,859,800
業務核都市計[注1]	2,848,248	3,300,975	3,941,751	3,986,999	4,243,621	4,001,919	4,123,418	3,936,883	4,188,972
横浜市	938,994	1,044,236	1,216,309	1,218,582	1,289,372	1,215,524	1,246,714	1,185,778	1,271,937
川崎市	414,872	454,355	505,168	499,269	504,118	468,140	464,655	447,983	459,768
厚木市	73,692	102,936	133,342	139,141	145,871	135,096	135,712	128,404	132,103
町田市	65,884	81,574	96,141	99,163	113,130	105,943	115,549	116,992	126,827
相模原市[注8]	145,556	175,652	213,667	219,043	224,132	225,101	226,317	212,551	223,079
八王子市	115,638	139,029	169,547	169,281	198,951	187,974	197,074	191,713	205,740
立川市	60,279	71,352	84,637	81,033	82,015	79,440	88,823	84,823	94,607
多摩市	15,018	21,693	40,279	44,867	48,178	51,300	52,582	49,805	56,532
青梅市	33,437	40,015	49,644	47,313	51,182	49,637	52,929	50,869	50,597
川越市	79,053	97,384	113,763	113,716	120,699	111,962	120,838	116,856	123,538
熊谷市[注2]	62,709	72,058	80,376	78,661	84,798	81,008	82,296	78,734	80,392
さいたま市[注3]	276,497	321,483	390,532	402,621	441,162	410,504	420,439	397,334	438,942
春日部市[注4]	39,673	51,521	62,174	62,796	67,669	62,868	63,299	59,170	62,341
越谷市	48,363	69,028	89,152	90,121	98,235	92,824	92,360	87,967	95,195
柏市[注5]	70,514	84,441	109,363	112,562	118,472	114,270	118,335	111,637	119,138
土浦市[注9]	55,708	62,365	71,873	70,458	76,157	70,366	71,585	67,581	72,289
つくば市[注6]	27,874	41,797	55,948	60,029	71,494	70,302	73,968	73,709	96,917
牛久市[注7]	7,280	9,285	13,351	15,084	17,283	17,871	19,973	21,624	21,409
成田市[注10]	45,744	53,033	71,510	73,057	80,510	78,570	85,761	85,073	78,735
千葉市	236,162	266,306	327,908	347,328	364,175	332,173	350,984	326,411	336,430
木更津市	35,301	41,432	47,067	42,874	46,018	41,046	43,225	41,869	42,456

注　：「1-6　業務核都市における事業所数（民営）の状況」の脚注を参照。
資料：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

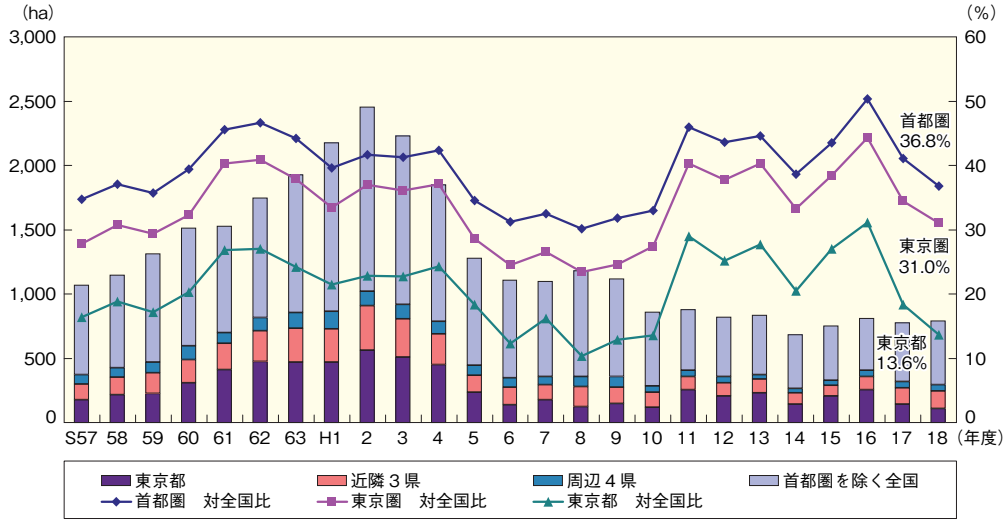
2　活力創出に資する機能の状況

2-1　事務所・店舗等床面積の推移



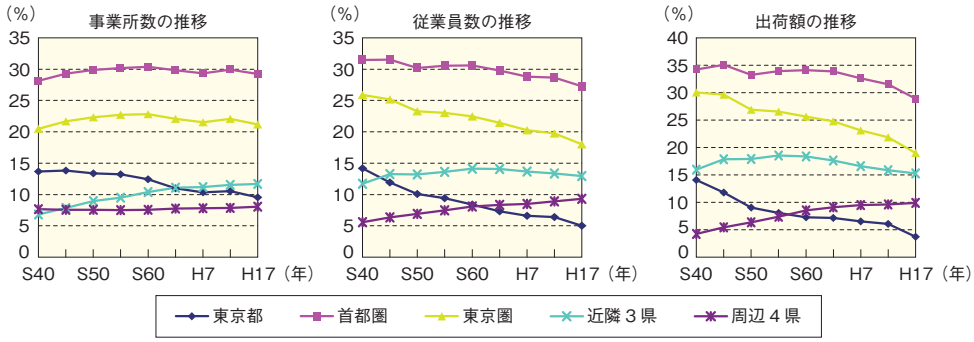
注 1：事務所・店舗等とは、木造の事務所・銀行及び店舗並びに非木造の事務所・店舗・百貨店及び銀行を指す。
注 2：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。
資料：「固定資産の価格等の概要調書」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

2-2　事務所着工床面積の推移



注　：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。
資料：「建築統計年報」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

2-3　製造業の対全国シェアの推移



近隣 3 県：埼玉県、千葉県、神奈川県
周辺 4 県：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県
資料：「工業統計表」（経済産業省）により国土交通省国土計画局作成

2-4　各都県における主要農業・林業・水産業部門のシェア等

主要農業部門のシェア等（平成18年）

	農業産出額（億円）	全国順位	農業産出額部門別シェア（%）						耕地面積（千ha）
			1位		2位		3位		
全　国	86,321		畜産	30.7	野菜	23.6	米	21.9	4,671
首都圏	16,607		野菜	36.5	畜産	26.2	米	18.2	655
茨城県	3,988	4	野菜	37.9	畜産	24.0	米	22.4	177
千葉県	4,014	3	野菜	39.1	畜産	25.0	米	17.6	132
栃木県	2,609	10	畜産	33.4	野菜	28.0	米	27.4	129
群馬県	2,250	15	畜産	41.1	野菜	36.4	米	8.5	78
埼玉県	1,900	19	野菜	42.8	米	21.6	畜産	17.1	84
山梨県	832	34	果実	61.8	野菜	13.3	畜産	9.0	26
神奈川県	736	36	野菜	48.2	畜産	23.9	果実	12.5	21
東京都	278	47	野菜	55.8	花き	17.3	果実	11.2	8

資料：「平成18年農業産出額（都道府県別実額）」、「平成18年耕地及び作付面積統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

主要林業部門のシェア等（平成18年）

	林業産出額（千万円）	全国順位	林業産出額主要部門別シェア（%）						現況森林面積（千ha）
			1位		2位		3位		
全国	43,216		木材生産	50.2	栽培きのこ類	47.9	薪炭生産	1.3	24,473
首都圏	3,895		栽培きのこ類	62.3	木材生産	36.4	薪炭生産	1.1	1,735
群馬県	1,209	11	栽培きのこ類	81.4	木材生産	17.8	薪炭生産	0.9	404
栃木県	1,152	12	栽培きのこ類	54.6	木材生産	44.5	薪炭生産	0.9	343
茨城県	786	17	栽培きのこ類	54.0	木材生産	45.2	薪炭生産	0.6	187
埼玉県	259	36	栽培きのこ類	57.5	木材生産	37.5	薪炭生産	5.0	123
千葉県	220	39	栽培きのこ類	54.1	木材生産	45.0	薪炭生産	0.5	162
山梨県	125	43	木材生産	52.0	栽培きのこ類	47.2	薪炭生産	0.8	348
東京都	62	45	栽培きのこ類	54.8	木材生産	45.2	薪炭生産	0.0	73
神奈川県	82	44	木材生産	54.9	栽培きのこ類	35.4	薪炭生産	1.2	95

資料：「平成18年林業産出額」、「2005年農林業センサス」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

海面における主要水産業部門のシェア等（平成18年）

	漁業生産額（海面漁業・養殖業）（億円）	全国順位	漁業生産額魚種別シェア（%）						生産量（海面漁業・養殖業）（千t）
			海面漁業				海面養殖業		
			1位		2位		1位		
全国	15,279		まぐろ類	14.1	かい類	8.6	ぶり類	26.1	5,586
首都圏	677		まぐろ類	25.0	さば類	18.2	海藻類	94.4	355
千葉県	307	15	いわし類	20.6	その他の魚類	16.6	海藻類	95.9	225
東京都	207	24	まぐろ類	42.8	かつお類	18.0		x	82
神奈川県	163	26	まぐろ類	35.4	かつお類	12.0	海藻類	96.9	48
茨城県	×	－	さば類	50.7	いわし類	27.1		×	280
栃木県	－	－		－		－		－	－
群馬県	－	－		－		－		－	－
埼玉県	－	－		－		－		－	－
山梨県	－	－		－		－		－	－

注１：首都圏の漁業生産額は、千葉県、東京都及び神奈川県の計である。
注２：東京都における海面養殖業の魚種別生産額については、秘密保護上統計数値を公表していない。
注３：茨城県における漁業生産額（海面漁業・養殖業）及び海面養殖業の魚種別生産額については、秘密保護上統計数値を公表していない。
資料：「平成18年漁業生産額」、「平成18年漁業・養殖業生産統計（概数）」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

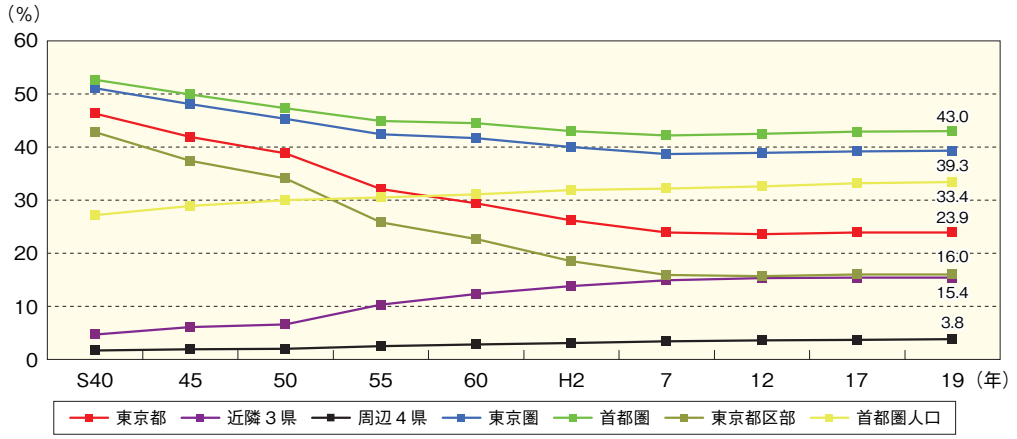
2-5　ソフト系IT産業の市町村別事業所数

	平成13年9月	平成14年9月	平成15年9月	平成16年9月	平成17年9月	平成18年9月	平成19年9月
茨城県	567	578	590	584	579	591	588
水戸市	107	115	116	114	106	111	107
日立市	98	98	97	94	96	91	91
つくば市	87	85	83	85	89	91	101
ひたちなか市	60	62	66	67	65	66	63
土浦市	49	44	48	45	42	46	40
栃木県	308	308	324	315	328	334	332
宇都宮市	155	169	177	176	176	181	178
群馬県	477	477	451	445	446	453	448
前橋市	139	137	136	132	134	134	128
高崎市	133	133	130	121	125	124	136
太田市	52	46	44	47	43	44	46
埼玉県	906	902	920	917	920	979	897
さいたま市	263	262	258	261	262	263	259
川越市	60	56	56	57	60	61	49
川口市	57	56	60	53	53	60	59
千葉県	848	818	830	830	879	858	801
千葉市	199	192	190	201	210	202	196
船橋市	83	82	87	84	89	91	89
市川市	75	79	70	69	76	79	72
柏市	72	72	67	64	83	86	80
松戸市	69	60	67	67	68	69	60

	平成13年9月	平成14年9月	平成15年9月	平成16年9月	平成17年9月	平成18年9月	平成19年9月
東京都	10,870	10,621	10,871	10,796	10,980	11,131	10,903
23区	9,845	9,938	9,847	9,770	9,975	10,085	9,927
八王子市	149	153	134	141	132	140	131
府中市	112	107	105	95	86	87	83
立川市	105	114	112	113	113	119	117
町田市	91	101	98	96	96	104	91
武蔵野市	87	85	87	87	84	86	86
三鷹市	60	57	53	52	56	60	55
多摩市	60	66	62	62	61	62	61
神奈川県	2,176	1,772	2,157	2,181	2,247	2,222	2,103
横浜市	1,151	1,123	1,141	1,132	1,182	1,154	1,101
川崎市	387	389	394	395	390	400	380
相模原市	116	114	109	109	114	118	115
藤沢市	78	76	79	90	84	85	75
厚木市	76	70	70	72	75	66	69
山梨県	165	94	180	181	189	192	181
甲府市	86	94	92	91	92	96	92
首都圏計	16,317	16,399	16,323	16,249	16,568	16,760	16,253
全国計	35,769	36,106	35,828	35,957	36,669	37,359	36,433

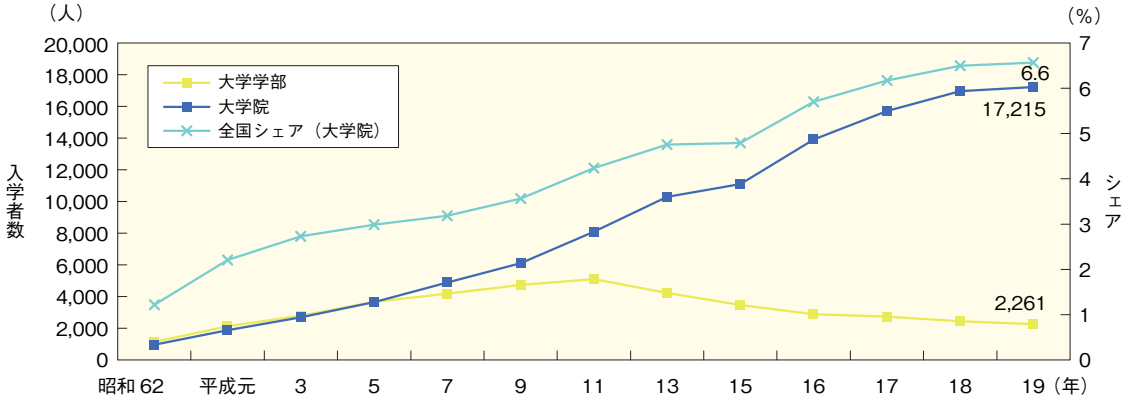
注：ソフト系IT産業はタウンページの業種分類において以下の3業種
　　ソフトウェア業・情報処理サービス・インターネット関連サービス
資料：NTTタウンページデータにより国土交通省国土計画局作成

2-6　大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移



注　：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による
資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）、「平成19年10月1日現在推計人口」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

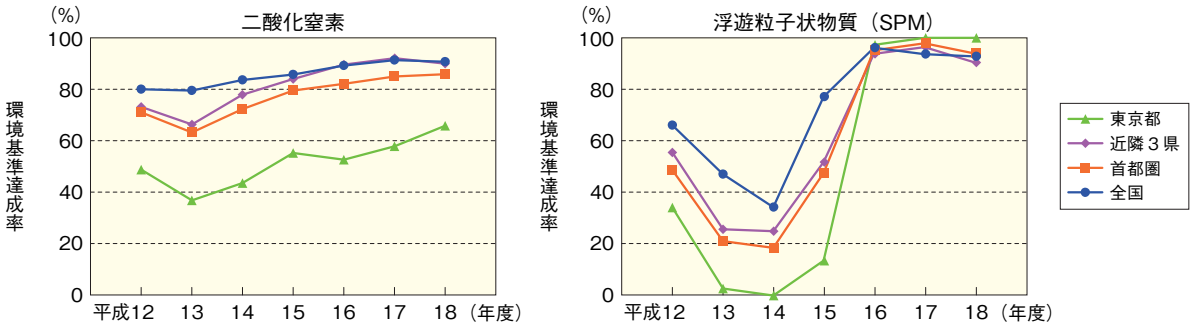
2-7　社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者



注　：大学院は、修士課程、博士課程、専門職学位課程（平成15年4月創設）の社会人入学者数の合計値
資料：文部科学省資料により国土交通省国土計画局作成

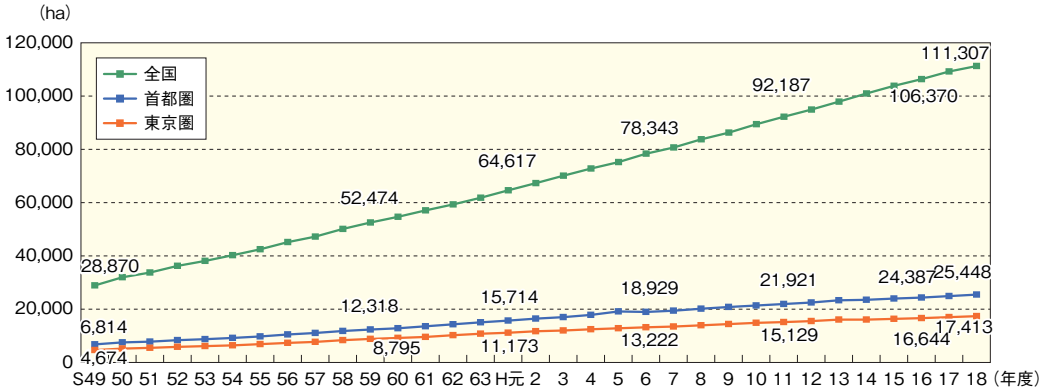
3　環境との共生

3-1　二酸化窒素及び浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準達成状況（自動車排出ガス測定局）



資料：「大気汚染状況について」（環境省）により国土交通省国土計画局作成

3-2　都市公園開園面積の推移



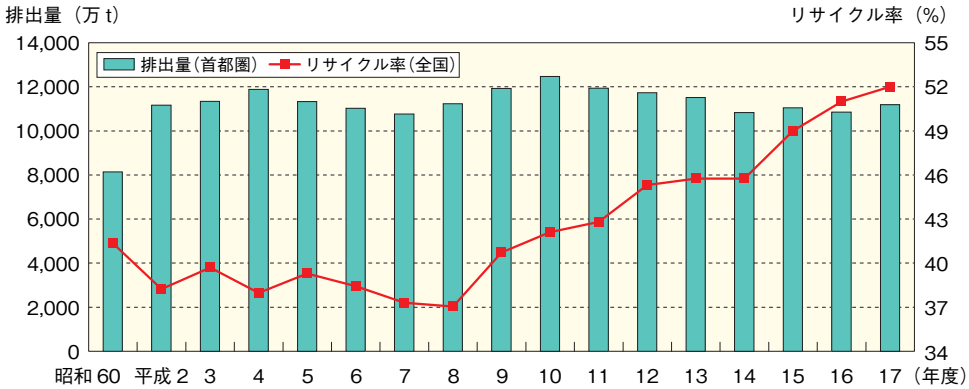
注　：各年度３月31日現在の数値
資料：国土交通省資料により国土交通省国土計画局作成

3-3　緑地保全関連制度の指定状況

	S61年度		H5年度		H12年度		H18年度	
	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
特別緑地保全地区	22	143	47	281	69	358	133	532
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693	19	15,861
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	758	9	759
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989	5	989
歴史的風土特別保存地区	9	266	13	571	13	571	13	574

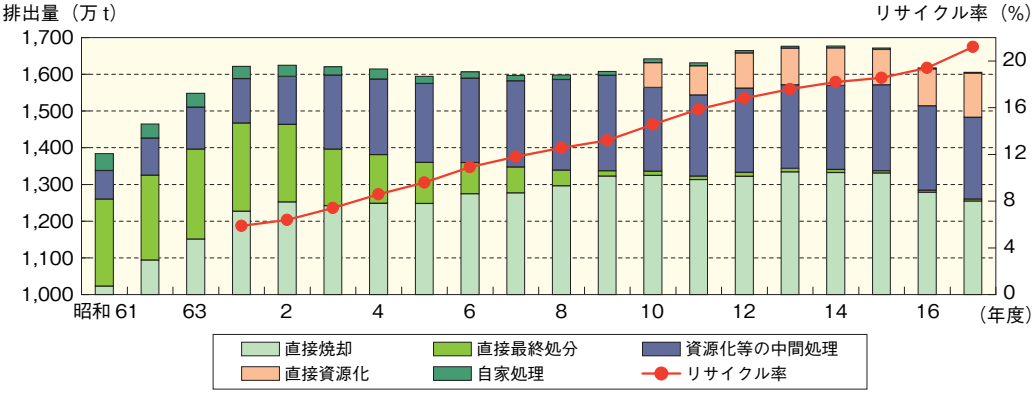
注　：各種制度は、都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による特別緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない
資料：国土交通省資料により国土計画局作成

3-4　首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移



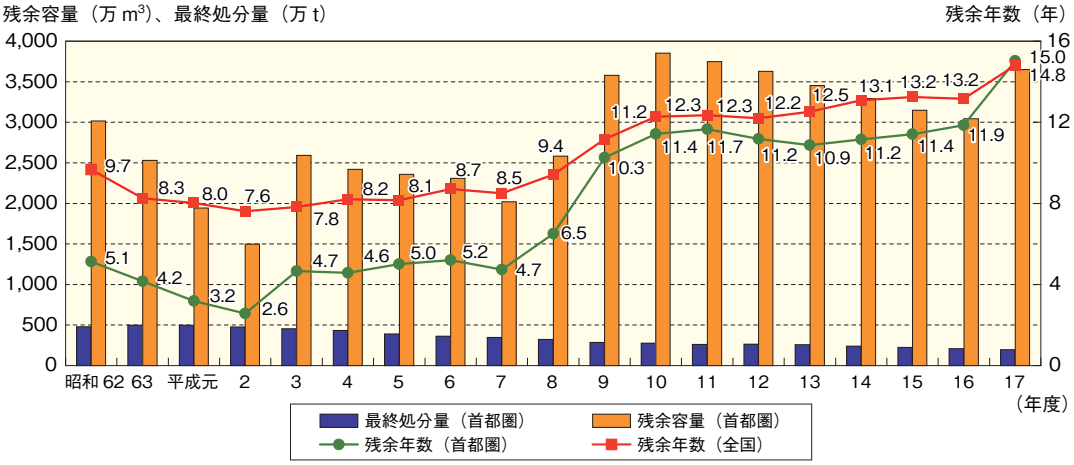
資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

3-5　首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移



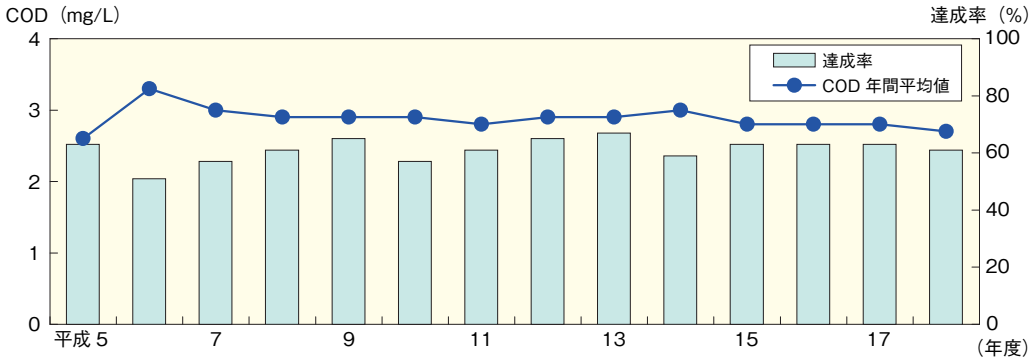
注 1 ：処分方法別の処分量を元に作成している。
注 2 ：「資源化等の中間処理」の処理方法は、高速堆肥化施設、粗大ごみ処理施設、資源化等を行う施設、ごみ燃料化施設及びその他における処理をいう。
注 3 ：排出量には集団回収量は含まない。
注 4 ：リサイクル率 =（中間処理後の再生利用量+直接資源化量+集団回収量）／（ごみ総処理量+集団回収量）。
資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

3-6　首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移



注　：残余年数=当該年度の処分場残余容量／（当該年度の最終処分量／埋立ごみ比重（=0.8163））。
資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

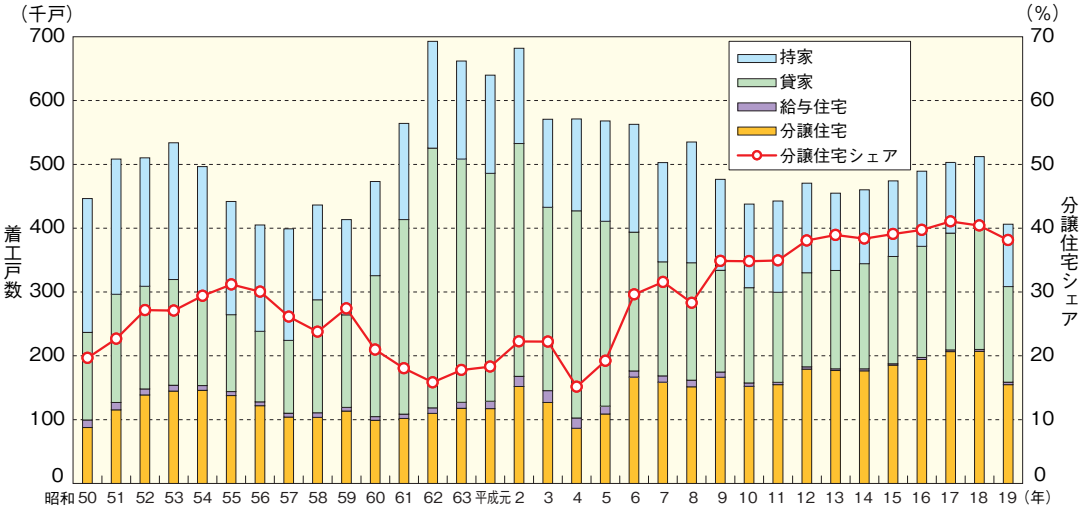
3-7　東京湾におけるCOD及び環境基準の地点達成率



注　：地点達成率=（環境基準達成地点数／基準地点数）×100
資料：「平成 18 年度公共用水域水質測定結果」（環境省）により国土交通省国土計画局作成

4　住宅の供給状況

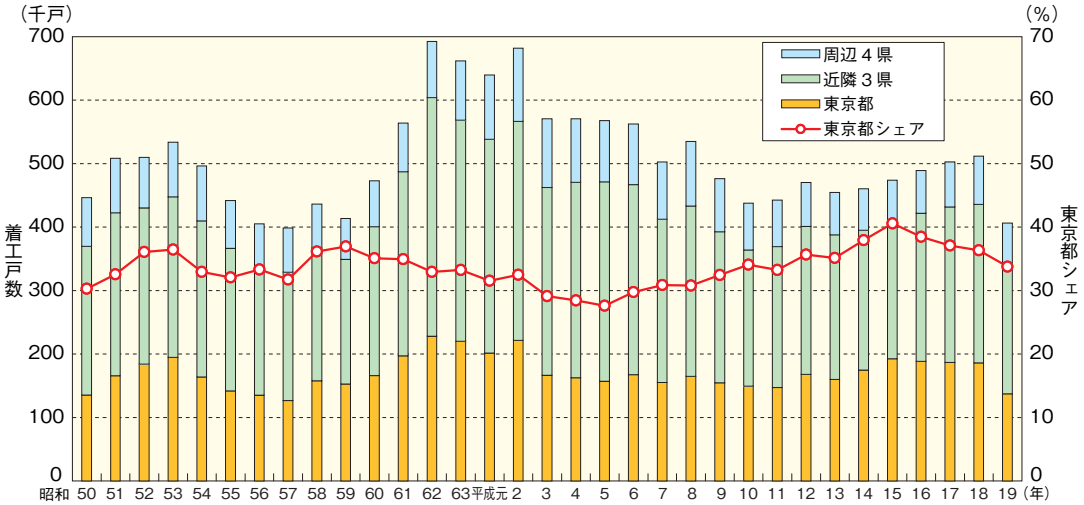
4-1　首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移



注　：「持家」とは、建築主が自分で居住する目的で建築するもの。「貸家」とは、建築主が賃貸する目的で建築するもの。「給与住宅」とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。「分譲住宅」とは、建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

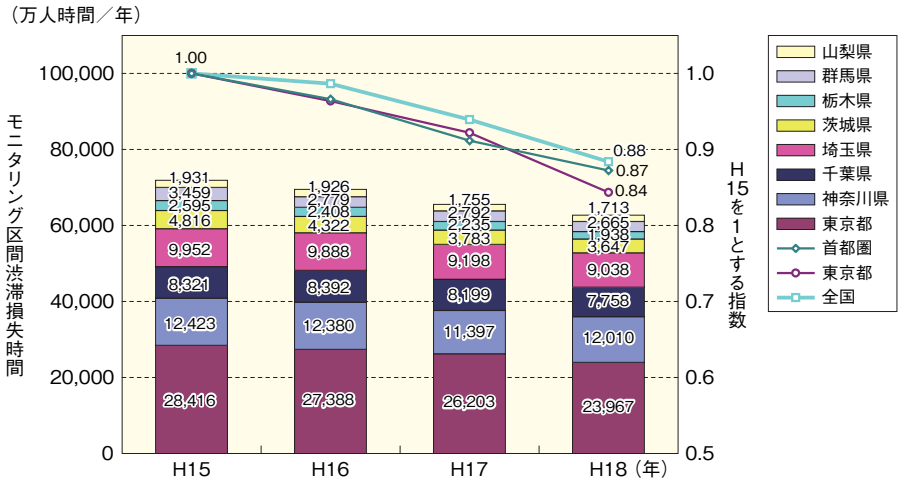
4-2　首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移



資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

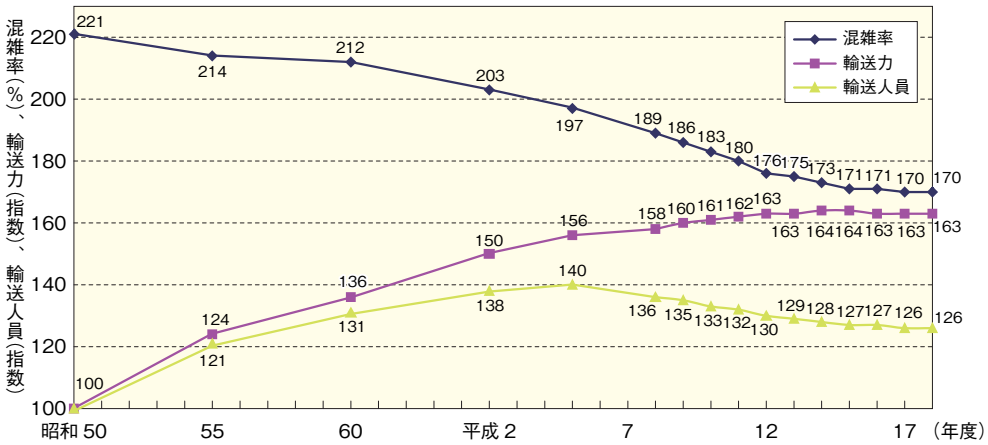
5　将来に引き継ぐ社会資本の整備

5-1　首都圏における渋滞損失時間の推移



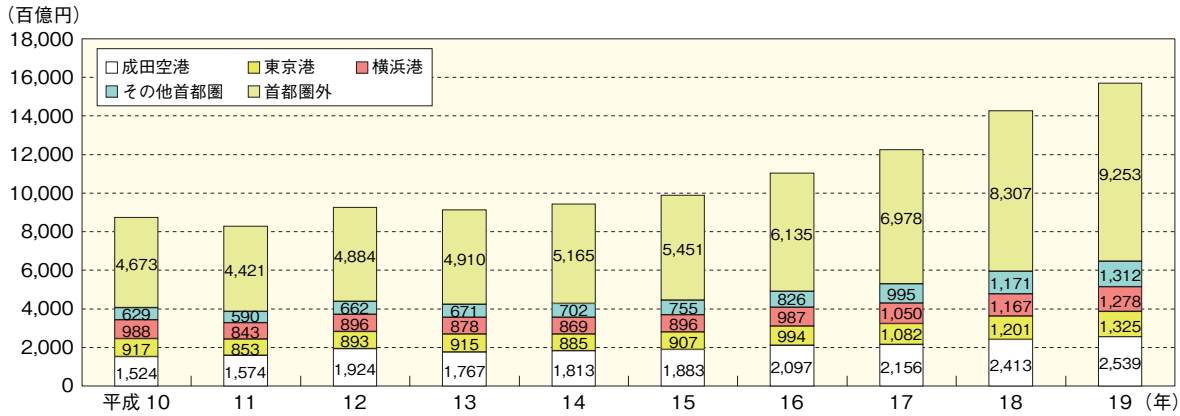
注１：「渋滞損失時間」とは、渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差を求めたもの。
注２：モニタリング区間とは、全国の一般都道府県道以上の道路の各区間について、1km あたり渋滞損失時間の高い順（平成 15 年度）に並べ、累積渋滞損失時間の上位 6 割の区間を抽出したもの。
資料：国土交通省資料により国土計画局作成

5-2　東京圏の最混雑区間おける平均混雑率、輸送力、輸送人員の推移



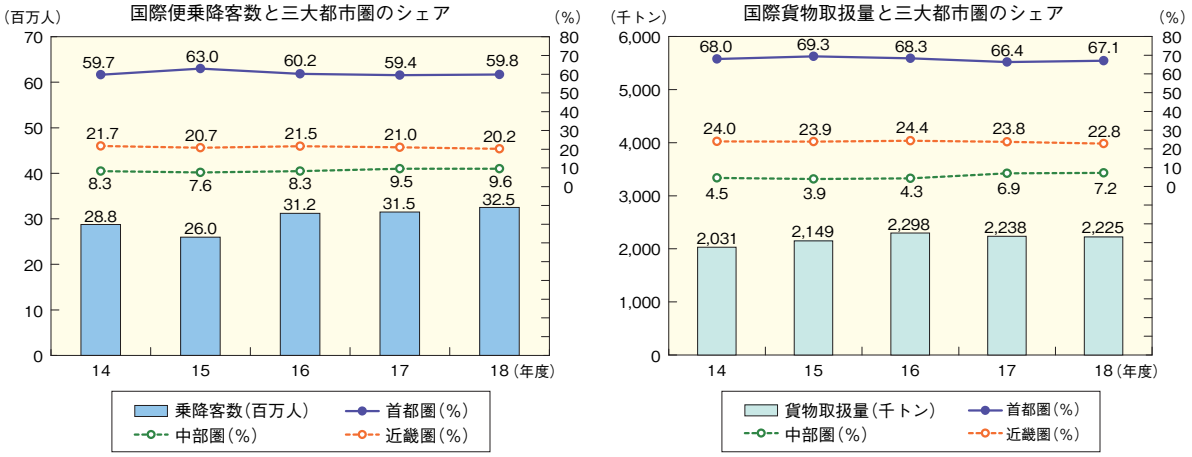
注１：国土交通省において昭和 30 年から継続的に混雑率の統計をとっている主要 31 区間
注２：輸送力、輸送人員は、昭和 50 年度を 100 とした指数
資料：国土交通省資料により国土計画局作成

5-3　首都圏と全国の貿易額の推移



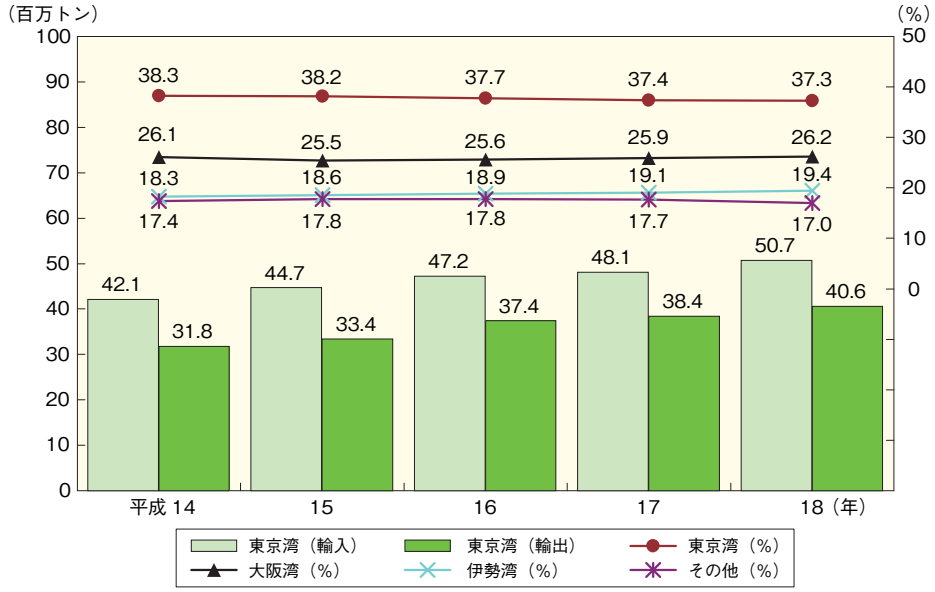
資料：「外国貿易概況」（（財）日本関税協会）により国土交通省国土計画局作成

5-4　首都圏の空港の利用状況と三大都市圏のシェア



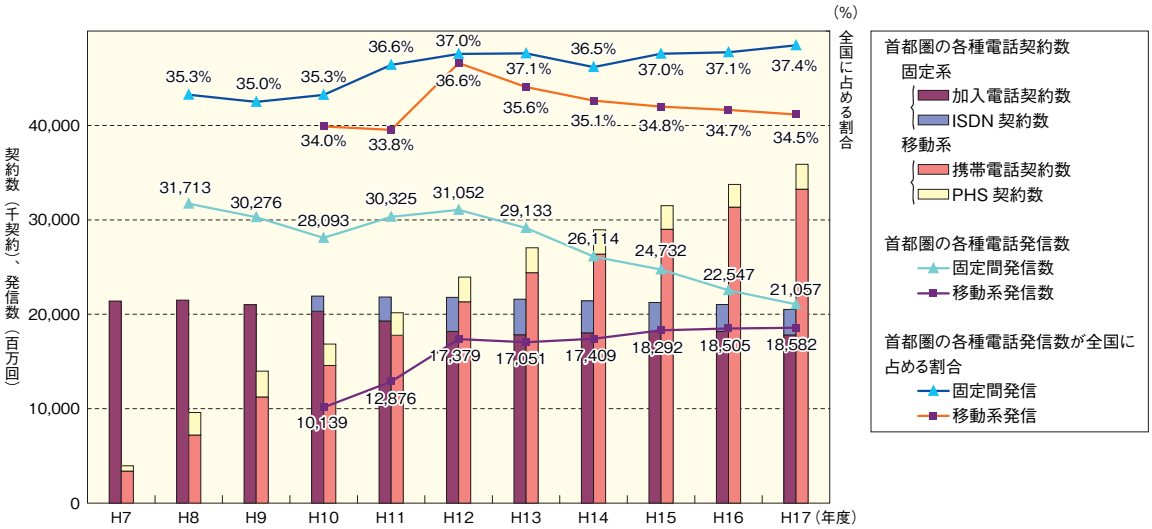
注　：首都圏とは成田国際空港及び東京国際空港の合計、中部圏とは中部国際空港及び名古屋空港（平成 16 年度のみ合算）、近畿圏とは関西国際空港の乗降客数及び貨物取扱量を指す。
資料：「空港管理状況調書」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

5-5　首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア



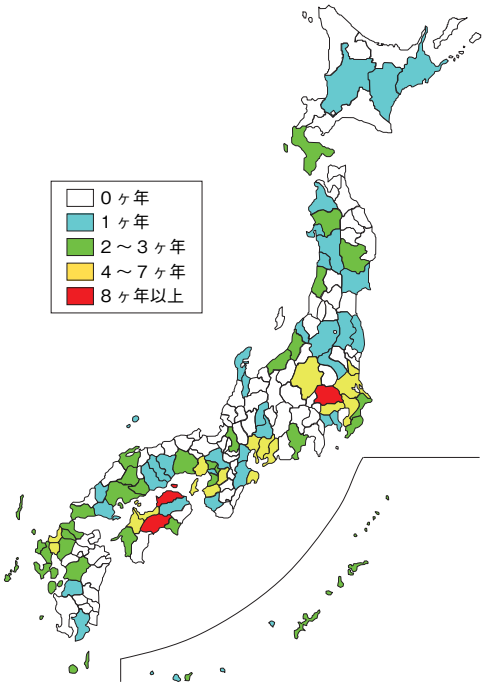
注　：東京湾とは千葉港、東京港、横浜港、川崎港の、大阪湾とは大阪港、堺泉北港、神戸港の、伊勢湾とは名古屋港、三河港、四日市港のそれぞれの取扱貨物量の合計を指す。
資料：「港湾統計（年報）」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成
内訳の合計が 100% とならないのは、数値の四捨五入の関係による。

5-6　首都圏における各種電話の契約数と発信数



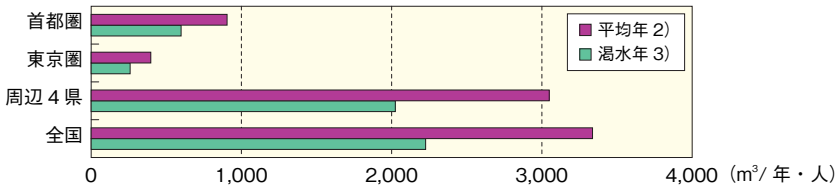
注１：「固定間発信数」とは、加入電話及び ISDN からの発信のうち、加入電話、ISDN、無線呼出しへの発信数
注２：「移動系発信数」とは、携帯電話及び PHS からの全発信数
資料：「トラヒックからみた我が国の通信利用状況」（総務省）、「テレコムデータブック」（電気通信事業者協会）より国土計画局作成

5-7　最近20ヵ年で渇水の発生した状況



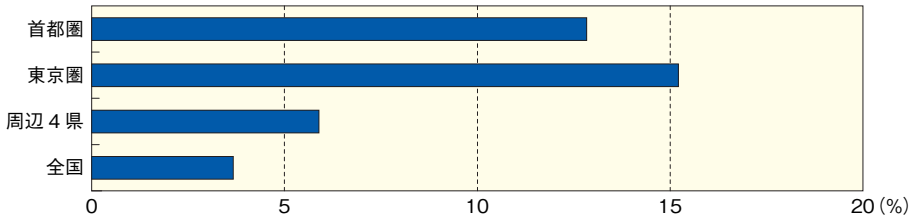
注　：昭和 61 年から平成 18 年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものである。
資料：「日本の水資源」（国土交通省）

5-8　１人当たりの水資源賦存量[1)]



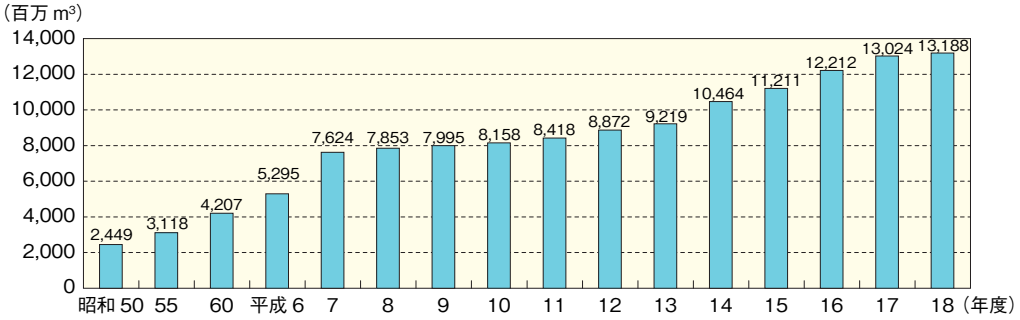
注１：水資源賦存量とは、水資源として、理論上、人間が最大限利用可能な量であり、降水量から蒸発散によって失われる量を引いたものに当該地域の面積を乗じた値。
注２：平均年の水資源賦存量は、昭和 46 年から平成 12 年までの平均値である。
注３：渇水年とは、昭和 46 年から平成 12 年において降水量が少ない方から数えて 3 番目の年。
資料：「日本の水資源」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

5-9　都市用水使用量[1)] に対する不安定取水量[2)] の割合



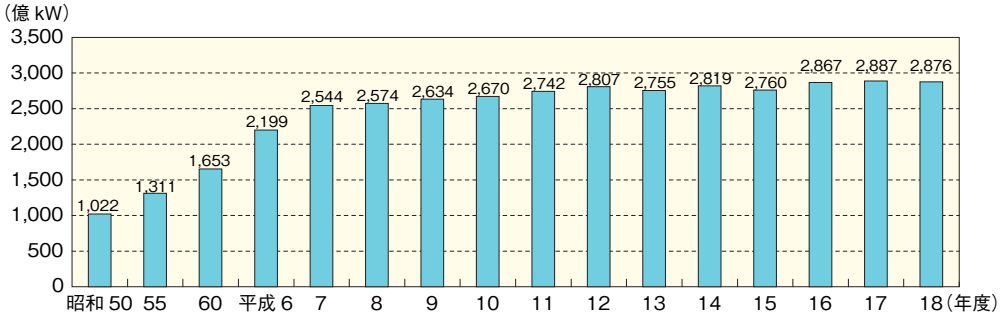
注１：都市用水：生活用水と工業用水
注２：不安定取水：水源となる水資源開発施設が完成していないため、河川流量が豊富な時にのみ可能となる取水で、河川流量が少ない時には取水することが困難となる河川からの取水。
資料：「日本の水資源」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

5-10　首都圏におけるガス販売量の推移（東京ガス（株）管内）



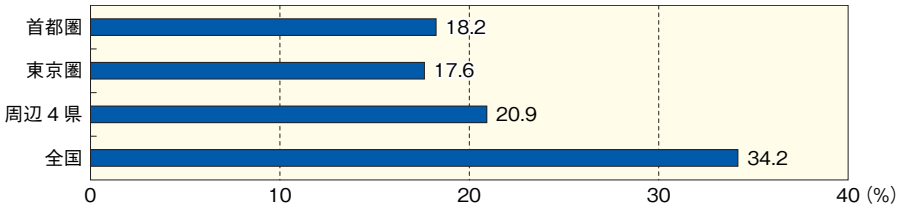
資料：ガス事業便覧（日本ガス協会）等により国土交通省国土計画局作成

5-11　首都圏における販売電力量の推移（東京電力（株）管内）



資料：電気事業便覧（電気事業連合会）等により国土交通省国土計画局作成

5-12　下水道水環境保全率



注　：下水道水環境保全率とは、単に下水道が普及するだけではなく、水環境改善の観点から、高度処理が計画上必要とされる地域については高度処理が、合流式下水道を有する地域については合流改善対策がそれぞれ実施されることにより、必要な放流水質が確保された区域内人口の、総人口に対する割合
資料：国土交通省